令和3年度の地域ケア個別会議は8回(11件)実施しています。

担当ケアマネより「自立支援」をテーマに事例提供をしていただき、個別の支援方法について多職種で検討を 重ねる中で、地域のネットワークの構築や、地域課題の把握を行ってきております。

事例概要 検討課題	会議内での主な意見等	課題等
5月	・妻の負担を考慮し、夫婦で別の曜日に通所利用の提案をする。	
老々介護	・キーパーソンの娘に連絡し、本人がサービスを休みがちになって	
サービスの再開方法について	いることを伝える	
5月	・何度か施設入所を断っているが、不安軽減のために再度施設見学	
独居	をしてみては。	
親族との関わりが薄く、今後の生活	・痩せが心身機能低下にもつながる。食事や栄養面のサポートをし	
不安について	てはどうか。	
	・期間限定でリハの介入を行う。・親族と連絡を取ってみる。	
6月	・人数が多いサロンは難聴の方に不向き。ふまねっと等少人数の集	・タクシー以外で
活動量低下	まりを勧める。	外出困難な人たち
活動意欲や興味を引き出す支援策	・散歩再開できるよう、屋外用福祉用具利用の提案をする。	への支援策(相乗
		りタクシー等)
8月	・買物や話し相手をしてくれるボランティアとのマッチングの提案。	
活動量低下	・デイケアで趣味を見つける。	
できることを増やし意欲的に過ごし	・「誰かのため」という活動目標を作る。	
てもらうための支援策		
10月 (9月中止、10月に実施)	・うつ病で入浴拒否あるため、訪問看護の利用で清拭や足浴等、身体	
独居	接触を徐々に増やす。	
閉じこもり防止と清潔保持策	・訪問リハ導入し自信をつけ外出を促す。	
	・家族の支援をうけ温泉利用の提案。	
11 月	・毎日体重測定し、目標体重の明確化。	
減量	・生活の中で、本人の役割を整理。	
食生活改善と活動量増加策	・通所リハの利用。	
12 月	・病院受診し薬の相談。受診できなければ初期集中支援チームの活	
老々介護	用。	
夫の負担軽減策	・買物付き添いや話し相手ボランティアの利用。	
2月 (ZOOM)	・サービス増回の検討。	
独居	・デイでトラブル回避のためボランティアの支援を検討。	
拒否や被害妄想がある方への支援策	・訪問リハによる機能評価。	
2月 (ZOOM)	・転倒リスク回避のため、環境確認や朝晩の状況を評価する。	
活動量低下	・リハの中でパークゴルフのようなレクを取り入れる。	
意欲的に過ごすための支援策	・インターネットで歌など趣味の幅を広げる。	

事例概要 検討課題	会議内での主な意見等	課題等
3月	・医療機関で栄養指導を受ける。	
低栄養リスク	・義歯調整。義歯安定剤の利用。	
栄養面改善に向けての支援策	・オイルを汁物に混ぜたり、栄養補助食品の変更を提案する。	
3月	・サロン再開後の誘い。・外出先として図書館利用の提案。	
活動量低下	・介護予防教室への参加を勧めてみる。	
通所以外で外出や交流ができる方策	・訪問リハ導入し、外出時の安全な休憩ポイントなどを提案。	

## 地域ケア個別会議を重ねることで見えてきた、富良野市としての共通課題(まとめ)

